

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	座間総合高等学校	課程・学科 教育部門・学部	単位制による全日制の課程 総合学科
-----	----------	------------------	----------------------

1 学校のミッション

- 全日制の課程単位制総合学科を設置する高校として、共通教科及び専門教科にわたる多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学習を可能にするという総合学科の特質を生かし、「系列」に応じた系統性のある学習を確保することで、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 伝統・文化への理解を踏まえた国際感覚を身に付けた人材の育成をめざし、社会の幅広い分野で自己の能力を発揮するために必要なコミュニケーション能力を育成するための教育に取り組む。
- 自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ態度を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 自分の在り方や生き方を見つめ、多様な学習経験を通じて獲得した学びに向かう力を生涯にわたって発揮し続ける人材を育成する。
- これからの社会で様々な困難に直面した時に、自分を信じて自らを活かす道を探りつつ、他者と協働して課題を見つけ、解決できる人材を育成する。
- 自分自身を大切にするとともに他者を尊重して思いやり、互いに信頼を築きあげられる知性と表現力を持った自立した人材を育成する。
- 多様な文化を理解して相手を尊重し、グローバルな視野を持って主体的に行動できる人材を育成する。

3 計画策定時点での課題

- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して不断の授業改善に取り組み、学びを通じて生徒の自己肯定感を高め、社会を生き抜く力を身に付けさせる。
- 学習指導要領の理念に基づき、多様な進路希望の実現に向けて継続的なカリキュラム開発に取り組む。
- 一貫した服装・髪型指導や遅刻指導等を行い、基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、情報リテラシー及びモラルの更なる向上を目指す。
- すべての教職員が高い生徒支援意識を持ち、授業をはじめ学校生活のあらゆる場面で生徒の発信を逃さない強固な支援体制を構築する。
- 学校行事、部活動やボランティア活動への主体的な取組を促し、豊かで活力ある学校生活を創出する。
- グローバルな視野と高い人権意識を身に付け、多文化共生社会の実現に貢献できる人材を育成する。
- 「キャリアⅠⅡⅢ」での一貫したキャリア教育を推進し、多様な学びと体験を通じて自分の在り方・生き方に対する自覚を深めさせる。
- 「課題研究」での探究活動を充実させ、計画を立て実行する力、自ら課題を発見・解決する力、コミュニケーションを図り他者と協働する力、研究成果を他者に伝える力の向上を目指す。
- 大規模災害に備えて地域連携強化と防災意識の向上に取り組む、安心・安全な学校づくりを推進する。
- コロナ禍での経験を踏まえ、業務の見直し、IT化等の業務改善に組織的に取り組み、生徒と向き合う時間の拡充を図るとともに、教職員のワークライフバランスを推進する。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い進路希望に対応できるよう教育課程の継続的見直しを行う。 ○進路実現の基盤として、自らの学習を管理して主体的・対話的で深い学びを実践する力を育成する。 ○探究的な学びを通じて課題発見力・解決力の向上、自己肯定感の高揚、社会を生き抜く力の育成伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な進路実現に向けて主体的な科目選択ができるよう組織的な履修指導を行う。 ○自らの学習を管理し、学習意欲・知的好奇心の向上に向けた取組を推進する。 ○主体的・対話的で深い学びを実現するために不断の授業改善に取り組む。
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ○一貫した生徒指導に加え、すべての教職員が高い支援意識を持ち、多様な特性を理解し、確かな支援につなげる体制を構築する。 ○学校行事、部活動等への主体的な取組を促し、豊かで活力ある学校生活を創出する。 ○グローバルな視野と高い人権意識を身に付け、多文化共生社会の実現に貢献できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立、情報リテラシー及びモラルの向上を図る。 ○すべての教職員が高い支援意識を持ち、学校生活のあらゆる場面で生徒の発信を逃さない強固な支援体制を構築する。 ○長期的視点に立ち、計画的に生徒の主体的活動を支援する。 ○「知る・つながる・創る」という多文化共生の理念を具体化する。
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ○「キャリアⅠⅡⅢ」での一貫したキャリア教育を推進し、校内外での多様な学びと体験を通じて自分の在り方・生き方に対する自覚を深めさせる。 ○「課題研究」での探究活動を充実させ、計画性を持って課題に取り組み、自らの興味・関心を追究することで進路実現・自己実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「キャリアⅠⅡⅢ」での各種取組が継続性・発展性を持つよう系統的なキャリア教育を計画・実践する。 ○探究の手法を理解し、テーマに対する自らの仮説を他者に対して根拠を持って論理的に説明できる力を身に付けさせる指導を実践する。
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ等への参加を促し、地域社会が持つ教育力を積極活用してキャリア形成意識の向上を図る。 ○地域との交流を推進し、地域の課題に目を向け、その解決を図ろうとすることで、豊かな人間性や社会性の涵養を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学科の特性を生かして、生徒が主体的・計画的に地域活動に参加できる体制を構築する。 ○多様な活動を保障するため他校種や行政機関との連携を強化する。 ○地域の防災活動や美化活動への主体的参加を促す。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の抜本的見直し、ICT化等の業務改善に組織的に取り組み、生徒と向き合う時間の拡充を図る。 ○ハラスメントのない職場づくりを実現し、職場の心理的安全性を高め、教職員のワークライフバランスを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種取組の目標や成果を検証し、業務の抜本的な見直しを行う。 ○ICT利活用の促進、業務分担の見直し等を行い、効率的で多様な働き方に対応する学校運営を目指す。 ○職員間のコミュニケーションを促進し、安心安全な職場環境を構築する。